

国際ロータリー2650 地区
2022－23年度 地区運営方針

奉仕(布施)と親睦(多様性)の実践

1, ロータリー運動の原点に帰りましょう!

社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年奉仕など概念論で奉仕を分類し奉仕活動を考えると活動が行き詰ってしまいます。もっと単純に奉仕を一体のものとして考え実践しましょう。

ロータリーという大木はクラブ奉仕、殊に親睦と友愛という根を大地にしっかりと張って、そこに職業奉仕という大きな幹が育ち、その幹から社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、財団といった多くの枝を出し、葉を茂らせているのです。

2, 心のオアシスとなるクラブにしましょう!

クラブというものは何よりも友愛、親睦が大切です。

デジタル社会の弊害として血の通った連帯感が薄れつつ

ある現代社会において、クラブこそ心のオアシスでなければなりません。

そしてロータリーという名を冠したクラブは、職業人が集まって親睦のオアシスで心を洗い、奉仕の自己確認をする場所なのではないでしょうか。

親睦の原点は、ルールにとらわれることのない自由でついで出席したくなる例会と情報集会にあると思います。

3, 一人でも多くの人とロータリーを分かち合いましょう！

自分という人間の質の向上のためにより多くの未知の人を訪ね求めましょう。

そしてその相手の中にまた未知の彼/彼女を発見し、その人自身にもそれを自覚してもらい、会員同士の資質向上の相乗効果一層高めましょう。ロータリーが人をつくるという所以です。

そしてこのことこそがクラブとしての存在意義だと思えます。質や量の議論はやめて、ロータリーを分かち合える友を増やしていきましょう。